



加治川小だより

新発田市立加治川小学校 第4号
新発田市上今泉 366 番地 1 画 33-2435
児童数 279 人 (R 元.7.18 現在)

ホームページアドレス <http://kajikawa-e.shibata.ed.jp/>



1 学期を振り返る

校長 安澤 たい子

今月 26 日 (金) の 1 学期終業式を目指し、各学年学級では、水泳の学習に取り組んだり、最後の学習の仕上げに力を注いだりしています。気温が安定しないことや、その中での暑さ、また疲れ等で、体調がすぐれない子どももいますが、なんとか元気を取り戻し、みんなで 1 学期を締めくくってほしいと願っています。

先月末に、保育園・幼稚園の活動の様子を参観したり、先生方とお話をしたりする機会がありました。参観して感激したのは、子どもたちが楽しく水遊びをした後、着替えをする様子についてです。5 歳の子どもたちが、ここまで自分でできるんだと分かったことでした。バスタオルで体を拭き、背中もできるだけ自力で拭く。水着は水泳帽子の中に小さくして入れる。そして、最後には、バスタオルでくるりとくるんで移動する。先生方の見守りや支援・指導を受け、自分なりに努力して積み上げた姿だと強く感じました。あまりに感激したので、今月初めの全校朝会で、「自分でできること」という内容で話をしました。さて、小学生の皆さんはどうですかという問いかけも添えてです。

5 年生になると、家庭科の授業で縫い方やボタン付けの学習をします。針や糸を持つのは、ほとんどの子どもがこの時初めてではないかと思えます。たどたどしい手つきで、針に糸を通し、まずは玉結びと玉留め。続いてなみ縫いや難しい返し縫い。最後はボタンの付け方を習得し、まとめとして覚えた方法を使って小物を作ります。完成に至るまでの過程を、何度か見ました。正確には、見ただけではなく、上手なところを褒めたり、難しいところを助けたりもしました。一人一人が、自分で選んだ小物作りのセットで、ティッシュケースや小物入れを作っていました。形、布や糸の色の組み合わせ、ボタン選び、アップリケ。どれも個性的で、自分の作品として、大切に作っていました。一生懸命作っている姿も、大変印象的でした。今回の学習で、裁縫の技能を身に付け、自分でできることを確実に増やしたと言えます。

最近読んだ新聞記事の中で、家の人から言われて嬉しかったこととして、「よくがんばったね。」「～ができるなんて成長したね。」という言葉がありました。大人でも同じだとも書いてあり、ますます共感を覚えました。

1 学期の終業式の日には、通知表を持ち帰ります。がんばったことがたくさん読み取れます。子どもたちの成長と、これからのやる気につなげられるようご協力ください。どの子にも、がんばったところ、成長したところが必ずあります。



全員が夏休みを安全に楽しく過ごし、2 学期に登校してくるのを待っています。